

話し上手は聞き上手」6年生 (望ましい人間関係の育成)

1. 題材について

高学年になると今までの積み重ねによって発言したり、スピーチしたりすることはできるが、人前で話すことに自信を持っている児童は少ない。日頃の様子を見ていても、聞いてはいるが意思表示がなかったり、反応がなかったりすることが多い。そこで、上手な聞き方をみんなで考えることにより、積極的に話を聞く意欲をもつきっかけを作り、他者をより理解し認め合う雰囲気を作っていきたいと思いこの題材を設定した。

2. 活動の実際

(1) 事前の活動

・児童の実態を知るアンケート調査

(話していて不快になった経験・うれしかった経験について)

(2) 本時の活動

ねらい

・相手を不快にさせる話の聞き方・上手な聞き方を体験し、自分の行動を振り返り、今後の行動のめあてを持つ。

展開

	児童の活動	評価()と支援()	資料
導入	1. 本時のねらいを知る。 ・アンケートの結果から、みんなが考える「話し手が不快感を抱く聞き方・嬉しくなる聞き方」を知る。	アンケートの結果に意識と関心が持てている。(活動への関心・意欲、問題への気づき)	アンケート結果
展開	2. 下手な聞き方を体験してみる。 ・無反応型 ・話乗っ取り型 ・～ながら型 3. 上手な聞き方とはどんなものか考え、体験してみる。 ・目を見て聞く ・頷きながら 4. 体験した感想を発表しあう。	下手な聞き方で友だちの話聞くことをおさえ、どんな気持ちになったかをまとめる。 話し手が気持ちよく話せる聞き方を出させ、ポイントを押さえる。 2つの体験を対比させ、上手な聞き方をしてもらった時の気持ちよさに気づかせる。発表した児童と同じ気持ちの人に手をあげさせ、共感させる。	上手な聞き方

終末	5.本時を振り返り、自分の今後のめあてを持つ。	振り返りカードを記入させ、これからの行動のめあてを持たせる。 上手な聞き方について考え、自分のめあてを考えている。 (自主的、実践的な活動・態度)	ワークシート
----	-------------------------	---	--------

(3) 事後の活動

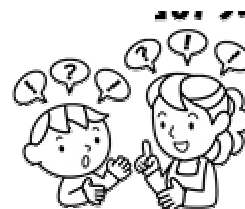
- ・朝の会や帰りの会などで折りにふれて自分のめあてを振り返る。

3. 参考資料

(1) 児童の意識を高めるための資料

アンケート

「真剣に聞いてもらえていないな。」と思ったことはありますか？
 どんな態度で聞いているとそう感じますか？
 「話してよかった。聞いてもらえてうれしい。」と思ったことはありますか？
 どんな態度で聞いてもらえたときにそう感じましたか？



(2) ねらいを焦点化するための資料

< 上手な聞き方のポイント >

レベル1

- ・話す人のほうに体を向ける
- ・話す人を見る
- ・よそ見や手いたずらをしない
- ・最後までしっかり聞く

レベル2

- ・うなずいたり、あいづちをうったりする
- ・話す人のじゃまにならないように時々質問する
(黙っていたほうがよいときもある)

レベル3

- ・相手の考えや気持ちを自分の言葉で言い換え、わかっているかどうか確かめる



4. 備考

折りにふれてこの活動を振り返ることで、毎日のスピーチや授業で友だちが話すときに体を向けて聞いたり、反応を示したりする児童が増えていった。国語のスピーチ単元にあわせて行ったことでさらに意識付けができたように思う。